

第2回 港区学校情報化アクションプラン策定支援業務委託事業候補者選考委員会議事録

日 時	平成29年3月2日(木) 8:45~10:00
場 所	教育委員会室
委 員	委員長 益口 清美 教育委員会事務局次長 副委員長 佐藤 雅志 教育委員会事務局庶務課長 委 員 山田 康友 教育委員会事務局政策担当課長 委 員 新井 樹夫 教育委員会事務局学務課長 委 員 渡辺 裕之 教育委員会事務局指導室長 委 員 若杉 健次 総務部情報政策課長
事 務 局	教育委員会 庶務課 庶務係

【議事要旨】

委員長 事務局	<p>(1) 一次審査における評価及び一次審査通過事業者の決定について <質疑応答> 事務局から説明をお願いします。 資料番号1の1、1の2、1の3を使って説明します。2社から応募がありました。委員採点と事務局採点を集計しました。1の1がA社、1の2がB社です。事務局採点と委員採点の合計が右下の合計です。資料3、区内事業者は5%の上乗せがあるが、両社とも区内事業者なので、それぞれ5点加点されています。事務局採点ですが、どちらの会社もワーク・ライフ・バランス推進企業なので、どちらも満点をつけました。 出された資料を項目に沿って採点した結果がこちらです。一次審査の結果、A社が907点、B社が833点です。</p>
委員長	<p>この結果について、疑問があります。 「実務担当者等の経歴」のところ、基準が明確なのに、人によって点数が異なるのはなぜですか。</p>
C委員 委員長	<p>私も同じことを考えました。だから同じ点になりました。 この基準でいけば、みな同じ点になるはずですが。実務担当者は何人もいるのに、そこはどうなのですか。</p>
事務局	<p>それぞれ人によって、基準が異なり、基準に該当しない人の点数は下がると思っていました。</p>
委員長 C委員 委員長	<p>こんなに基準を明確にしている、なぜ違うのですか。 資格も等になっているし。 関連した資格なら、なんでもいいのですか。基準通りなのか、違ってもいいことにしたのか、確認したいので、基準どおりにつけなかった人は挙手をお願いします。</p>
E委員	<p>自治体の実績はなく、国の事業の懇談会のメンバーだったので管理監督者に3</p>

	をつけました。
委員長	国は自治体に入れなかったんですね。中核市規模以上で、だから、やはり国は入るのではないですか。
B委員	私も、国は含まれると思います。
委員長	計画より、調査研究ばかりやっているということですか。
	基準を作ったのだから、事務局採点にしたらどうですか。
D委員	Bの業者は、中野区は、学校教育以外のシステムのため、練馬区と港区で2つと考えました。
B委員	私も同じように考えました。
委員長	正確にみると、D委員の意見が正しいですね。
C委員	この基準は業者には示してあるのですか。
事務局	示していません。主要なものを3つ記載するように募集要項に書きました。
委員長	そうすると、主要なもの3つと書いたら、大きな物を3つ書いてくるかもしれない。教育と関係なくても、大きなものを書いてくることもあります。不公平になるかもしれません。
C委員	主要なものの優先順位をかかないと、不公平になります。金額の大きいものを書いたのかもしれない。
事務局	この様式6の事業実績は事務局採点だが、ここに出してきたものと重複したものが様式8にでていたが、様式6の事業実績は、直近のものから順番に記載するよう指示している。過去のものではなく、近年のものを書いている。そこと大きく違うものは出されていませんでした。
C委員	後から問題にならないように、説明ができるようにしてください。
E委員	対象となる業務の内容も、教育情報化の計画策定に近いものは、加点したが、校務支援システムの導入と保守、個別のシステムの導入を実績とカウントしていいものなのか。
A委員	数を指定しない方がいいのか、だと募集要項からの話になってしまいます。
C委員	それはもうどうしようもないので、今、この中で決めて必要最小限で説明できれば良いのではないか。
A委員	3つ以上あげてくれと言っているわけだから、3つだと何点というカウントではなく、個々の業務を見ていくという、だから事務局採点ではなく審査委員の採点で、やや多角的なことも含めて採点するのではどうでしょうか。
委員長	基準を変えると、もう一度審査する必要があります。
	基準を変更して再度採点するのが良いと思います。
委員長	では、実績が極めて十分、普通、少ない、極めて少ない、くらいのものにして、委員採点とします。再度採点をお願いします。
	後は、経歴以外のところを、コメントしてください。経歴のところは、もう一度見て採点し、合計点は修正してください。
	4番の1, 2, 3の3つの項目で、AとBと、どういう考えでこの点数をつけ

C委員	たかを、各委員は述べてください。 提案書を見せてもらって、A社は、具体性がある。B社は、すべての項目で具体性がない。次期学習指導要領のポイントみたいな、最初のコンセプト、ここが一番気になったところで、A社の方が具体的で、B社は何を言っているのか分かりにくいという印象です。全体としてA社の方が良いと思った。
B委員	私も、A社の方が分かりやすく、具体的な提案だったところを評価しました。B社は、普通という評価をしました。A社は5段階で4という評価です。
D委員	私もC委員とほぼ同じ捉え方をしています。まず、学習指導要領をふまえていくという事と、港区の実態、国際学級等の記述もあり、具体的な提案がなされているということで、A社に高い評価をつけています。B社はなかなか具体的な姿が見えてこない。A社に高い点数をつけています。
E委員	私もC委員と同じで、A社の方が、アクティブラーニング教育や個別具体的なことが表現されているという事で、評価しています。一方でA社は港区の現状についての理解が、少し弱いのかという感触です。B社は、提案内容は、ほかの自治体やICT等の実績を持ってこられると抽象的だが、国の動きや港区の現状をよく把握していると感じた。目指す姿が全体最適というところは確認したいところだが、結果として、A社、B社、同じレベルだと思いました。
A委員	記載している内容自体違うが、2社とも特に誤ったこととかではないと思います。国の動向ということで学習指導要領の改定のところをどう受け止めているのかを、今回自分は重要視した。B社はセキュリティの重要性に偏っている気がした。間違いではないが、肝心の課題をどう捉えているとか、今後のことなどが読み取りにくかった。大きな違いはないが、A社の方が採点上高い評価になりました。
委員長	自分の評価を言う前に、D委員、国際学級やつばさ教室でICTを活用するようなことを書いてあったが、それは必要なのですか。
D委員	どこまで具体的にやるかという事になると、作る段階のところかなと思う。
委員長	可能性はあるのですね。
D委員	これから拡大していかなければならないと思います。28年度予算で在宅で出来るものを一度提案したことがあります。そんなことも含め、これから可能性があると思います。
委員長	外部とつなげるのが難しいのですね。分かりました。私のコメントは、皆さんと同じです。A社は、具体的施策について、新たな提案を行っていて、つばさ教室や国際学級など、港区の特徴を目に入れて、具体的提案をする努力を非常にしてくれているというイメージを持ちました。B社は、具体性がほとんどないです。ただ、「国の動向を熟知している。それを港区の政策に生かす。」と言っています。具体性はないが、期待はできると思っています。情報分野なので、港区の実状を、それほど知らなくてもできる分野であるとも思います。若干A

	<p>社の方が上、という評価をしたが、両方ともプレゼンを聞いてみたいと思います。</p> <p>では、今までのところで、意見の変わる人はいませんか。</p> <p>では、点数は若干変わるかもしれませんが、2社でプレゼンテーションするという事でよいか。</p>
一同	(同意)
委員長	<p>それでは、二次のスケジュールについてです。二次の審査基準は、すでにもらっていますね。ご意見はありますか。時間配分はどうですか。</p>
事務局	<p>資料2です。募集要項にも記載しましたが、プレゼンテーションは1社15分、質疑応答20分としています。</p>
委員長	<p>プレゼンテーションはどんな感じでやりますか。概要版を作ってきてもらうとかパワーポイントを使うとか、説明してください。</p>
事務局	<p>プロジェクターとスクリーンは用意しています。提案書の範囲内で、資料を持参してもよいので、一次通過の通知の際に確認します。</p>
委員長	<p>二次のやり方で質問はありますか。では、二次審査のスケジュールをお願いします。</p>
事務局	<p>3月15日月曜日の午後3時から5時です。場所は教育委員会室です。</p>
委員長	<p>採点やり直しの提出期限はいつですか。</p>
事務局	<p>今週中に提出をお願いします。</p>
委員長	<p>以上で、第二回選考委員会は終わります。</p>